

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	新型コロナウイルス肺炎患者に対する理学療法介入の効果
研究責任者	金子 賢人
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	概要: 新型コロナウイルスで入院された患者さんは長期の薬剤投与や行動制限がかかり、特に高齢な患者さんは身体活動量の低下や筋力低下が懸念されます。 当センターでは2020年4月15日より新型コロナウイルス肺炎に対するリハビリテーション(理学療法介入)が開始されました。現在、日本国内では新型コロナウイルス肺炎に対するリハビリテーションを実施している施設は少なく、その効果も解明されていません。 そこでリハビリテーション科では新型コロナウイルス肺炎の患者さんに対して専従の理学療法士を配置し、身体機能の改善や日常生活動作の再獲得、入院期間等のリハビリテーションの効果を明らかにすることを目的としました。 今回の研究では当センターの新型コロナウイルス患者さんの身体的傾向を把握し、今後の治療方針役立てるべく、後方視的研究を計画致しました。
研究方法	対象:2020年4月～6月に当院に新型コロナウイルス肺炎で入院され、入院期間中にリハビリテーションを実施した20例を対象としております。 研究方法:診療録より患者さんの背景や治療内容、治療成績、リハビリテーション時の身体評価等を解析致します。 倫理的配慮:個人情報保護には匿名化を徹底し、十分な配慮を行った上で解析を行います。上記対象に該当すると思われる患者さんで、本研究へ参加を希望されない方は下記までご連絡下さい。参加の途中で辞退も可能です。参加を希望されない場合でも不利益を被ることは一切ありません。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター リハビリテーション技術課 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者:金子 賢人 TEL: 03-3400-1311 FAX: 03-3409-1604